

そんけい すべき ムスリム の みなさま!

わたしたちの すうこう な しゅうきょう である イスラーム は、しゅうきょう、げんご、じんしゅ や せいべつ に かかわらず、あらゆる ひと の けんり を しんせい かつ ふかしん な もの として みとめて います。あらゆる ばめん、あらゆる じょうきょう において こうへい である こと、 こうせい であり つづける こと、ハラール と ハラーム の かんかく を まもる こと を わたしたち に めいじて います。こじん と こうきょう の けんり を そんちょう し、ふせい や よくあつ に たちむかう よう すずめて います。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま!

わたしたちの じんせい ぜんたい におよぶ もっとも じゅうよう な せきにん の ひとつ は、 ひとびと の けんり を そんちょう する こと です。ひとびと の けんり を そんちょう する こと は、 ぜんとう の アッラー に たいする しんこう を なす ひつよう な じょうけん です。

ひとびと の けんり が しゃかい の すべての ぶぶん に かかわって くる よう なら、それは こうきょう の けんり の はんい になります。こうきょう の けんり とは、げんざい いきている ひと だけ ではなく、まだ うまれて いない こどもたち、こじ、まずしい ひとびと、こまっている ひとびと、みすてられた ひとびと の けんり でも あります。

こうきょう の けんり を しんがい する こと は おおきな つみ です。ぜんとう の しゅ (スプハーナワ タアーラー) は、とうとい クルアーン を とおして つぎ の よう に つげて おられます。

「もし さぎ を はたらけば、ふっかつ の ひ、その ものが はたらいた さぎ も めしよせられる だろう。」¹

しんあい なる ムスリム の みなさま!

わたしたちの よげんしゃ は、わたしたち に つぎ の よう に けいこく して います。「せいとう な けんり なくして とち を どくせん する べき ではない。さもないと ふっかつ の ひ、アッラー は どくせん した もの (のくび) に ななつの だいち を ぶらさげさせる だろう。」²

ですから、ぜんあく が あきらか になり、すべての ひと に とうぜんの むくい が あたえられ、 どの ような とっけん も もたせて もらえない しんぱん の ひ に はじ を かく こと の ないよう、 こじん と こうきょう の けんり に たいする しんがい は じゅうぶんに さける よう に しましょう。なにかしらの けんり を しんがい して しまった なら、かならず ゆるし を もとめる よう に しましょう。

ほんじつ の ホトバ を、つぎ の しょうく を もって おわります。「アッラー に めされる そのひ を おそれなさい。その のち かくじん は、えてきた もの におうじて じゅうぶんに むくいられ、 ふせい に あつかわれる こと は ない。」³

¹ Al-i Imran, 3/161.

² Muslim, Musaqah, 141.

³ Baqarah, 2/281.